

2017. 3. 12

イエスが肉体となって来られた  
(ヨハネの手紙第一 4:1~4)

神は

造物主でおられる

その方は

天地万物の生死を主管する方でおられる

その御子である

イエスが肉体となって来られたのは

死を味わうためであった(ヘブル 2:9)

その方の血は贖いの力であるために、

その血を否認するというのは反キリストである

その方は罪人を招くために来られたが、(マルコ 2:17)

その血によって贖いを受けた靈魂を信者と呼ぶ

それゆえ、信者となった者はバプテスマを受け、

聖霊によって生まれ変わり、義とされる

これは

神の御言葉であり、永遠な約束である

それゆえ、

神の御言葉を聞く者はその方に属するが、

その方の御言葉を信じない者は反キリストである

イエスを信じるキリスト者の偉大な信仰は

自分が恵みを受けた者であるという確信である

これを小羊の血と自分の証しする言葉によって確信する(ローマ 10:9~10)

○自分の靈魂が罪と誘惑から常に勝利しなければならない

自分が罪人であるという不信仰に勝利しなければならない

信者となった者は永遠に義とされた者である

○不信仰の良心と知恵は

自分が受けた恵みを疑い、

依然として自分をこの世に属した者、すなわち罪人という

○イエスを信じるキリスト者の靈魂は常に

神の御言葉を聞く

自分が義人であるということを死ぬまで主張する

※信仰をもとう

肉体のことを脱ぎ捨てて、

恵みの中でだけ生きよう